

■イタリア：日食発生日にすべての太陽光発電所の運転を停止

送電系統運用者の Terna は日食が発生した 2015 年 3 月 20 日、出力 100kW 以上のすべての太陽光発電設備と一部の風力発電設備を午前 7 時から 14 時までの 7 時間にわたり系統から解列した。欧州送電系統運用者ネットワーク（ENTSO-E）は、約 1,800 万 kW の太陽光発電設備が設置されているイタリアでは出力が最大で 21%減少する可能性があるとして予想していた。ENTSO-E は太陽光設備の全面的な停止までは勧告していないが、Terna は「出力の急激な減少により系統が不安定化するのを防ぐため」に、送電系統運用規則に基づき今回の運転停止命令を発令したと説明している。今回のケースのように、系統の安全を理由とした緊急時の解列措置に対しては補償は行われない。